

今月のことば

～保育のビタミン～



去年の自分には負けたくない

主にスポーツの分野において、バランスよく習得するべきものとして「精神力・技術力・体力」の三つ、いわゆる「心・技・体」があげられます。これを保育の現場に置き換えると、「保育への情熱（心）・保育を行う技術（技）・健康な身体（体）」ということになるのでしょうか。いずれも、保育者にとって大切な事柄だといえます。

最初から、三つともバランスがとれていれば良いのですが、新任の頃は、「情熱」と「体力」は十分にあっても、なかなかそれに「技術」が伴わず、先輩の先生方のあとを付いていくだけ精一杯だつたりします。また、毎日一生懸命頑張って保育に取り組んでいるのに、子どもたちが期待したような反応を示してくれず、自分の思いだけが空回りするばかりで、気分が落ち込んだりすることもあったた

ります。

佐々木 哲生

けれども、経験を重ねていくと、少しずつ「技術」は身に付いてくるのですが、それと反比例するように、「体力」が低下してしまふもので。さらに、園での生活に慣れてしまふと、日々の保育にしても、年間行事の一ひとつに対しても、いつの間にか上手くまとめることが、関心が傾いて、初めて取り組んだときのような「情熱」を持てなくなったりします。「情熱・技術・体力」の三つをバランスよく保つこと、さらに継続して向上し続けることは、極めて難しいものです。でも…、だからこそ新しい年を迎えるに当たっては常に、「去年の自分には、負けたくない！」そんな思いで、今年一年をスタートするあなたでいてください。